

平成28年度第1回地方創生推進協議会資料

「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の
実績等について

平成28年7月

宇部市 政策企画課

目 次

1	平成27年度実績総括表	1
2	KPI等実績表	3
3	地方創生に係る国からの支援と宇部市の対応について	9
4	地方創生推進交付金の申請について		
	(1)『多世代の共働・交流による「まちなか活力再生」・「生涯活躍」のまちづくり』	10
	(2)『宇部力増強プロジェクト～自然の恵み 里地里山、里海の再生を稼ぐ力に～』	13

1. 平成 27 年度実績総括表

■ 目標指標

指標	現状値 (H26 年度)	目標値(A) (H31 年度)	実績(B) (H27 年度)	達成割合 (B) / (A)
雇用創出人数 (累計)	1,273 人	2,700 人	1,860 人	68.9%
市内総生産 (山口県市町経済計算)	6,100 億円 (参考H24 年度)	維持	6,220 億円 (参考H25 年度)	102% (参考値)
転出超過数	721 人	361 人 半減(360 人)	383 人 (338 人減)	93.9%
観光客数	107 万人/年	180 万人/年	135 万人/年	75.0%
延べ宿泊者数	20.2 万人/年	25 万人/年	25.8 万人/年	103.2%
合計特殊出生率	1.57 (H25 年度)	1.65	1.51 (参考H26 年度)	91.5%
女性就業率 (25 歳~44 歳) (総務省国勢調査)	68.5% (H22 年度)	73.0%	国勢調査の 結果待ち	国勢調査の 結果待ち
健康寿命	男性 78.01 歳 女性 82.92 歳 (H22 年度)	延伸	国勢調査の 結果待ち	国勢調査の 結果待ち
地域福祉活動拠点箇所数 (累計) 及び 参加者数 (延べ人数)	16 箇所 延 28,792 人	60 箇所 延108000人	18 箇所 延 25,551 人	30.0% 23.7%
中心市街地の定住人口	6,299 人	7,100 人	6,259 人	88.2%
中心市街地の 休日一日当たりの通行者数	9,382 人/日	15,500 人/日	14,880 人/日	96.0%

■ K P I (重要業績評価指標)

① 川崎間に推移しているK P I 数	59
② H27 年度見込みに達していないK P I 数	8
③ 成果の測定が次年度以降になるK P I 数	1
合 計 (再掲を含む)	68

目標別内訳	①	②	③	計
1. 安定した雇用を創出する	24	7		31
2. 新しい人の流れをつくる	8		1	9
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	15			15
4. 地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す	11	1		12
5. 「にぎわいエコまち計画」に基づく都市基盤の整備	1			1
合計	59	8	1	68

■ 分析

1 目標指標について

目標指標については、総合戦略最終年度である平成31年度末迄の中期的な視点で達成度合いを測定するものであり、11の指標を設定している。

中でも、「延べ宿泊者数」については、目標値を上回るとともに、「中心市街地の休日一日当たりの通行者数」についても目標値に大きく近づいている。これらは、「UBEピエンナーレ×まちじゅうアートフェスタ」の実施、また「第23回世界スカウトジャンボリー」と連携したイベントの開催など、観光施策の実施によるものと考えられる。

なお、「市内総生産」や「女性就業率」、「健康寿命」については、国勢調査や山口県市町経済計算が公表されていないため、結果の測定は後年度となる。

2 KPI（重要業績評価指標）について

KPIについては、68の指標を設定しているが、平成27年度の実績見込み（目標）に対して、順調に推移しているKPIが59指標あり、全体の86.8%となっている。

5つの基本目標別に見ると、「安定した雇用を創出する」が77.4%、「新しい人の流れをつくる」が88.9%、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が100%、「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」が91.7%、「にぎわいエコまち計画に基づく都市基盤の整備」が100%となっており、総合戦略策定前の平成27年度当初から進めてきた取組が成果に結びついたと考えられる。

一方、実績見込みに達していない8のKPIについては、概ね見込みに対して92%から98%の達成率で大きな遅延は認められず、今後、見直しや工夫を行うことで、順調な推移が見込まれる。

なお、「60歳から64歳までの男女の就業率」については、国勢調査の結果が公表されていないため、結果の測定は後年度となる。

KPI等実績表(1/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
1 安定した雇用を創出する	雇用創出人数(累計)	H26	1,273人	2,700人		1,860人	2,000人	
	市内総生産(山口県市町経済計算)	H24	6,100億円	維持		6,220億円 (参考:H25年度)	6,100億円	
(1) 環境エネルギー産業の育成・振興								
① 地域エネルギービジネスモデルの創出	新電力会社設立件数(累計)	H26	-	1件	0件	0件	1件	
	新電力会社が契約した顧客件数(累計)	H26	-	4,000件	0件	0件	500件	
(2) ヘルスケア産業の育成・振興								
① 健康・医療ビジネスモデルの創出	健康ビジネスモデルの創出件数(累計)	H26	-	6件	1件	1件	3件	
(3) 観光産業の育成・振興								
① ツーリズム等の創出	産業観光バスツアー参加者数	H26	2,071人/年	3,500人/年	2,000人/年	1,950人/年	2,500人/年	
	うべふるさとツーリズムへの参加者数	H26	2,276人/年	13,000人/年	21,500人/年	21,518人/年	8,500人/年	H27うべの里 アートフェスタ 16,225人皆増
	コンベンション誘致件数	H26	20件/年	50件/年	26件/年	24件/年	35件/年	
	山口宇部空港を利用する国際チャーター便の 運航回数(定期便を含む)	H26	28回/年	70回/年	52回/年	48回/年	57回/年	
	外国人観光客数	H26	13,000人/年	20,000人/年	14,000人/年	22,000人/年	15,000人/年	
② 観光情報の発信	市の認知度(地域ブランド調査)	H26	26.7点	32点	26.9点	26.9点	28点	
(4) 豊かな自然を生かした6次産業化・農商工連携の推進								
① うべ元気ブランドの育成等による食の魅力づくり	地元一次産品を活用した新商品開発品目(累計)	H26	24品目	110品目	54品目	55品目	70品目	
	地元1次産品を活用した商品の県外出展・販売件数(累計)	H26	11件	60件	21件	24件	34件	
② 地産地消外商の推進	販売協力店、販売協力専門店、やまぐち食 彩店の店舗数(累計)	H26	54店舗	65店舗	61店舗	61店舗	64店舗	
	学校給食で使用する地元食材(野菜・果実・ 魚介類・米)の使用率(金額ベース・%)	H26	36%	40%	33.0%	32.5%	38%	

KPI等実績表(2/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
(5) 雇用の促進・起業創業の支援								
① 若者・女性の就労や中小企業等の人材確保への支援	就職マッチング数(累計)	H26	57件	455件	135件	155件	245件	
	子育て女性再就職決定件数(累計)	H26	-	100件	20件	19件	40件	
	大学生等の市内就職割合	H26	12%	22%	-	12.7%	13.3%	
	高校生の市内就職割合	H26	45%	55%	-	44.5%	46.4%	H27 市内就職者+10人 就職希望者+28人
② 起業・創業の支援	創業実現件数(累計)	H26	28件	150件	55件	53件	80件	
	創業実現に伴う新規雇用者数(累計)	H26	28人	168人	53人	87人	114人	
③ 企業・オフィス等誘致活動の推進	産業団地企業立地件数(累計)	H26	64件	75件	66件	66件	69件	
	まちなかへのオフィス等誘致件数(累計)	H26	-	6件	1件	1件	3件	
(6) 中小企業等の振興								
① 経営の安定・革新に向けた支援	改装支援により来店者が増加した店舗割合	H26	-	70%以上	100%	100%	70%以上	
	ICT活用支援企業数(累計)	H26	-	50社	33社	33社	53社	
	新規商談件数	H26	-	10件/社	10件/社	23件/社	10件/社	
② 元気な商店街づくり	中心市街地空き店舗率	H26	11.2%	9.2%	10.3%	10.3%	9.4%	
③ ものづくりと人づくりの支援	メイド・イン・ウベ開発件数(累計)	H26	2件	12件	5件	5件	8件	
④ 海外経済交流の支援	中小企業の海外展開案件の創出件数(累計)	H26	-	5件	1件	2件	3件	
(7) 農林水産業の振興と担い手の育成								
① 効率的な営農経営への支援	企業の農業参入数(累計)	H26	13企業	20企業	15企業	15企業	17企業	
	新規農林業就業者数(累計)	H26	19人	30人	22人	24人	26人	
② 漁業経営安定化への支援	新規漁業就業者数(累計)	H26	16人	33人	18人	18人	21人	
	漁業者一人当たりの漁獲量	H26	6.86トン/年	7.07トン/年	6.90トン/年	6.55トン/年	6.94トン/年	

KPI等実績表(3/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
2 新しい人の流れをつくる	転出超過数	H26	721人	半減(360)		383人	360人	
	観光客数	H26	107万人/年	180万人/年		135万人/年	140万人/年	
	延べ宿泊者数	H26	20.2万人/年	25万人/年		25.8万人/年	27万人/年	
(1) U I Jターン・移住定住の促進								
① 移住・定住への支援	移住・定住者増加数(累計)	H26	-	450人	-	97人	180人	
	60歳から64歳までの男女の就業率	H22	57.5%	65.0%	-	国勢調査の結果待ち	国勢調査の結果待ち	
② 空き家の利活用促進	空き家活用件数(累計)	H26	5件	30件	3件	9件	14件	
(2) 大学等と連携した若者等の定着支援								
① 大学等連携の推進	大学生等の市内就職割合【再掲】	H26	12.0%	22.0%	-	12.7%	13.3%	
(3) 地域資源を生かした交流・シティセールスの推進								
① ときわ公園の魅力向上	ときわ公園入園者数	H26	51.2万人/年	80万人/年	60万人/年	60.1万人/年	70万人/年	
② アートによるまちづくり	UBEピエンナーレ来場者数	H25	51,800人/年(H25)	70,000人/年	90,024人/年	90,024人/年	開催なし	
	UBEピエンナーレ×まちじゅうアートフェスタの来場者数	H25	51,800人/年	112,000人/年	141,983人/年	141,983人/年	開催なし	
③ うべの魅力の効果的な発信	TV・映画等ロケ地誘致数(累計)	H26	3件	15件	3件	13件	18件	
	市の認知度(地域ブランド調査)【再掲】	H26	26.7点	32点	26.9点	26.9点	28点	

KPI等実績表(4/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	H25	1.57	1.65		1.51 (参考:H26年度)	1.60	
	女性就業率(25歳~44歳)	H22	68.5%	73.0%		国勢調査の結果待ち	国勢調査の結果待ち	
(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援								
① 結婚・出産の支援	「やまぐち結婚応援センター」市民登録者数(累計)	H26	-	550人	90人	102人	220人	
	ハイリスク基準に該当する妊産婦への支援率	H26	69.6%	100%	75.4%	100%	100%	
	市内の生後3か月までの赤ちゃん訪問率	H26	95.2%	100%	96.2%	98.5%	99.0%	
② 子育て環境の充実	子育て支援拠点事業利用者数	H26	44,610人/年	77,580人/年	46,140人/年	53,264人/年	59,861人/年	
	法定予防接種率	H26	88.6%	93.0%	89.0%	89.6%	90.0%	
③ ワーク・ライフ・バランスの推進	女性活躍推進企業認証数(累計)	H26	-	150社	25社	37社	60社	
(2) 魅力ある優れた教育機会の提供								
① 学校教育の充実	全国学力・学習状況調査結果(全国の正答率を100とした指数)	H26	小学校 99.6 中学校 102.3	小学校 103.0 中学校 105.0	小学校 101.0 中学校 100.4	小学校 101.0 中学校 100.4	小学校 102.0 中学校 102.0	
	中学校卒業段階で英検3級程度以上を達成した生徒の割合	H26	23.8%	50.0%	34.4%	34.4%	38.4%	
	彫刻教育を実施した学校数(累計)	H26	16校	37校	29校	29校	36校	
	通学路における小中学生の交通事故の発生件数	H26	51件	減少させる	48件	48件	減少させる	
	小中学校施設耐震化率	H26	79.6%	100%	85.9%	85.9%	90.1%	
② 地域と連携した教育と教育環境の充実	放課後子ども教室年間参加児童数	H26	18,053人/年	20,000人/年	19,000人/年	20,217人/年	20,200人/年	
	うべ協育ネット推進協力校区数(累計)	H26	5校区	13校区	10校区	10校区	11校区	
	大学等と連携した出前授業参加者数	H26	887人/年	13,000人/年	13,000人/年	13,000人/年	13,000人/年	
	いじめの解消率	H26	97.8%	100%	98.0%	99.0%	100%	

KPI等実績表(5/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
4 地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す	健康寿命	H22	男性：78.01歳 女性：82.92歳	延伸		国勢調査の結果待ち	延伸	
	地域福祉等活動拠点箇所数(累計)及び参加者数(延べ人数)	H26	16か所 延28,792人	60か所 延108,000人		18か所 延25,551人	34か所 延61,200人	
(1) 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備								
① 地域支え合い包括ケアシステムの強化	保健・医療・福祉の連携強化による地域ケア事業数(累計)	H26	7件	12件	9件	9件	12件	
	認知症サポーター養成数(累計)	H26	13,213人	21,000人	15,000人	14,680人	16,500人	
② 健康長寿のまちづくり	はつらつポイント制度登録率	H26	2.7%	10.0%	3.4%	3.4%	8.0%	
③ 障害者地域活動の支援	施設入所等から共同生活援助等へ地域移行した人数(累計)	H26	82人	115人	88人	104人	114人	
(2) 地域課題を自ら解決できる元気コミュニティの創生								
① 元気・安心・地域づくりの推進	元気なまちづくり提案事業件数(累計)	H26	12件	100件	38件	38件	58件	
	地域運営組織の設置数(累計)	H26	-	24校区	-	0校区	6校区	
② 中山間地域づくりの支援	中山間地域へ移住・定住者増加数(累計)	H26	-	100人	13人	16人	36人	
	コミュニティビジネス創出件数(累計)	H26	6件	15件	8件	8件	10件	
③ スポーツによる元気な人づくり	週一回以上スポーツをする成人の割合	H24	31.0%	60.0%	48.4%	48.4%	55.0%	
(3) 人口減少社会に向けた行政機能の効率化								
① 広域行政の推進	広域連携事業数(累計)	H26	15件	20件	20件	20件	21件	
② 効率的な行政運営の推進	提案型協働事業件数	H26	23件/年	50件/年	46件/年	46件/年	50件/年	
	貸出型公共施設の利用率	H25	42.1%	60.3%	-	45.3%	46.6%	

KPI等実績表(6/6)

〔基本目標・施策の基本的方向・施策〕	〔目標指標&KPI〕	基準年度	基準年度における数値	H31年度目標値	27年度末【見込】	27年度末【実績】	28年度末【見込】	備考
5 「にぎわいエコまち計画」に基づく都市基盤の整備	中心市街地の定住人口	H26	6,299人	7,100人		6,259人	6,630人	
	中心市街地の休日一日当たりの通行者数	H26	9,382人/日	15,500人/日		14,880人/日	15,050人/日	
(1) 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備								
① 総合的整備計画の推進	中心市街地建築促進助成事業による新築・増築戸数(累計)	H26	-	70件	14件	14件	28件	

地方創生に係る国からの支援と宇部市の対応

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)

◆交付金額: 112,335千円

地方版総合戦略の円滑な策定と、これに関する施策の実施を支援するために交付

- ① 総合戦略策定事業
 - ② 6次産業化推進事業
 - ③ 地域エネルギーシステム推進事業
 - ④ 中央町三丁目まち・ひと・しごと創出事業
 - ⑤ UBEビエンナーレ連携事業
- ほか 17事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)

◆交付金額: 126,782千円

地域での消費喚起など、緊急経済対策の速やか、かつ着実な実施を図るために交付

- ① プレミアム付商品券発行事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(上乗せ交付・タイプI)

◆交付金額: 10,151千円

地方創生に資する先駆的事业など、地方版総合戦略の施策実施を支援するために交付

- ① 新電力会社とともに進める、地域再生・ヘルスケア産業創出事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(上乗せ交付タイプII)

◆交付金額: 10,000千円

適切なKPIの設定など、10月末までに地方版総合戦略を策定する地方自治体に交付

- ① まちじゅうアートフェスタ開催事業
- ② UIJ促進(お試し移住)事業
- ③ ふるさと応援寄付金推進事業

地方創生加速化交付金

◆交付金額: 80,000千円

一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある施策実施を支援するために交付

- ① “来たれ！医療福祉人材” & “おいでませ！エキスパートシニア” しごと創生・移住促進事業
- ② “生ごみ”が創る地域エネルギー・循環のまちづくり事業
- ③ 宇部市&山口市の連携による「テクノロジー×アート」人材育成・地元定着促進事業(山口市と連携)
- ④ 山口観光維新DMO推進事業(山口市・美祢市と連携)
- ⑤ 2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合新虎通り活用事業

H26補正
1,400億円

上乗せ交付
300億円

H27補正
加速化交付金
1,000億円

H28
地方創生推進交付金
1,000億円

- 1. 多世代の共働・交流による「まちなか活力再生」・「生涯活躍」のまちづくり
- 2. 宇部力増強プロジェクト～自然の恵み 里地里山、里海の再生を稼ぐ力に～

地方版総合戦略の策定

地方版総合戦略の推進

多世代の共働・交流による「まちなか活力再生」・「生涯活躍」のまちづくり

【背景】

- 本市は、海や山などの豊かな自然環境に恵まれ、高速道路・鉄道・空港等の交通インフラ、高等教育機関、医療・福祉施設などが充足しているが、他の多くの自治体同様に人口減少や高齢化が進行し、一人当たりの医療費の増加や地域活力の低下など、多くの地域課題が生じている。
- こうしたことから、生産年齢人口の減少に伴う「雇用力」の低下、雇用の場を市外に求めて転出者がさらに増加するといった人口減少の負の連鎖が懸念される。
- 平成27年に策定した「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「新しい人の流れをつくる」を5つの基本目標の一つに位置づけ、その取組の柱の一つとして、宇部市の長長である医療・介護施設や大学など充実した地域資源を活用し、様々な世代の共働・交流を実現するため、平成28年3月に「宇部多世代共働交流まちづくり(宇部CCRC)構想」を策定した。
- この基本構想や、平成27年3月に策定した「宇部市にぎわいエコまち計画」などの取組を効果的・戦略的に推進し、①子育て世代など若い世代の定住 ②地域で活躍する人材の誘導 ③交流人口の増加 ④しごとの創出 ⑤中心市街地のにぎわい再生 ⑥人口減少を見据えたコンパクトなまちづくりを実現することで、人口減少の幅を抑制し、市民誰もがはつらつと暮らしていく健康活躍社会の実現とともに、多世代共働交流による「暮らして良し、働いて良しの市民が誇りを持てるまちづくり」を目指す。

【事業概要】

1 訪れる機会や、知る機会をつくる取組(移住定住促進)

- 医療・福祉施設や教育機関が充実し、温暖で暮らしやすい気候など、本市の「暮らしやすさ」や、「多世代共働交流のまちづくり」など地域特性を生かした取組等を、全国移住ナビや新聞・業界紙等で積極的にアピールするとともに、様々なネットワークを活用し、首都圏をはじめ全国各地でPR活動を展開するなど、積極的に情報を発信する。
- 地方への移住希望者に、宇部市への来訪のきっかけを作るため、「宇部の魅力」を体験してもらう「移住体験ツアー」を行う。
- 専門的人材やアクティブシニアの移住を促進するために、首都圏等における関係団体等と連携や、本市への移住定住を応援してくれるサポーター制度等を利用したプロモーション活動を行う。

2 多世代共働交流まちづくりの基盤整備(移住定住促進)

- プロジェクト推進員により、移住希望者に対して仕事や住居のマッチング等を行う。また、移住した市民の経験やネットワークを利用し、地域の活性化や産業振興につながるアイデア・企画等の掘り起こしのため、「移住者の集い」を開催する。
- 専門的人材の移住を促進するため、「お試し就業」を実施するなど、受け入れ側にも配慮した長期インターンシップを行う。
- 未活用の空き家を地域貢献のために提供したい、または利用したいという希望者を公

募し、子育てや起業創業など地域の活性化に繋がる提案事業に助成する。

3 子育て支援拠点等の整備(魅力ある生活支援機能の創出)

○中心市街地において、民間施設を活用し、子育て支援に係る複合的サービスを一体的に提供する全天候型の子育て支援拠点「子どもプラザ(仮称)」を開設する。

4 健康長寿のまちづくり推進(魅力ある生活支援機能の創出)

○健康づくり計画に掲げる「運動」(ウォーキング等)と「食」(ヘルシーメニューの開発等)の事業においてICTを活用することにより、より効果的にかつ簡易に市民が健康管理を行うことができる環境を整備する。

○中心市街地にウォーキングコースを設定するとともに、地域内の民間施設等を活用し、血圧や体重、体脂肪率等のヘルスデータを記録するための機器類を設置した拠点(スポット)を整備し、健康づくりのモデルとして再生する。

5 起業・創業の促進(カルチャー・創業機能の創出)

○中心市街地での積極的な起業及び創業を促進させ、来街者・居住者の増加を図るため、中央町地区においてリノベーション等によって整備された創業支援施設に入居した起業・創業家に対し、施設の賃料を助成する。

6 まちづくり人材の育成確保(カルチャー・創業機能の創出)

○次代を担う若者たちの提案や意見をまちづくりに反映するために、平成26年度から「若者会議」を実施している。その活動拠点となる「若者未来センター(仮称)」において、公・民・学の連携によって実験的に行う、中心市街地を賑わいのあるまちに再生するための調査研究・提案・コーディネート等のまちづくり活動(エリアマネジメント)に対して支援を行う。

○中央町の既存施設の活用企画や運営ができる人材を確保・育成するため、まちづくりとリノベーションの関係や既存施設活用の企画・事業化等の知識を習得するセミナー等を開催する。

●H28 交付金対象事業額:20,424 千円 (1/2 助成)

①生涯活躍のまちづくり推進(CCRC プロジェクト推進、移住体験ツアー等) : 855 千円

②子育て支援拠点事業推進(多世代交流スペース関連) : 600 千円

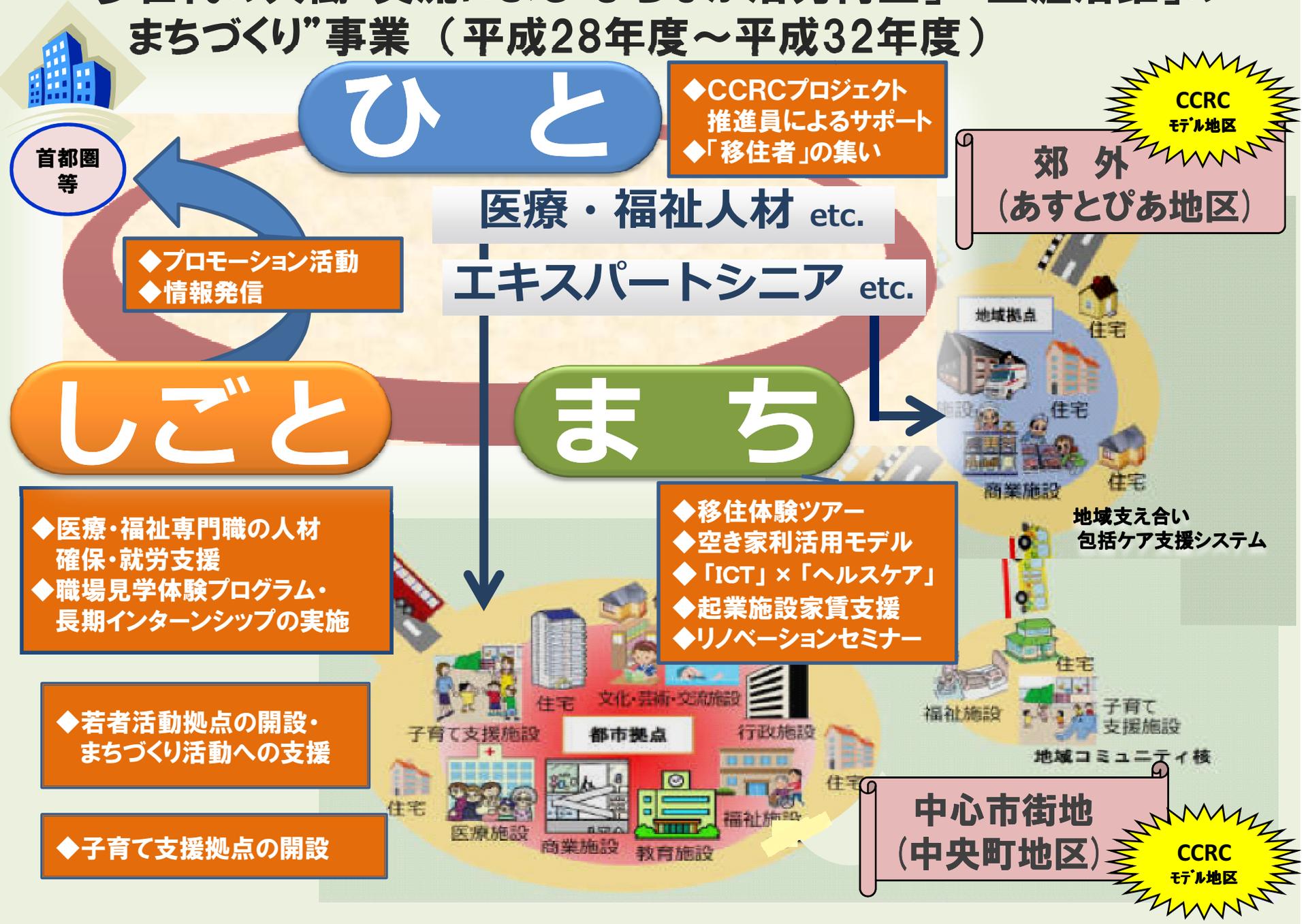
③健康ビジネスモデルの創出(ICT 活用生活習慣改善プログラムの開発、ヘルスツーリズムの実施等) : 6,049 千円

④まちなか活力再生(建物リノベーション、創業施設家賃支援、リノベスクールの実施) : 9,420 千円

⑤空き家対策(空き家等活用地域貢献モデル助成事業) : 3,500 千円

[参考] 総事業費(交付金対象分) : 583,889 千円

“多世代の共働・交流による「まちなか活力再生」・「生涯活躍」のまちづくり”事業（平成28年度～平成32年度）



宇部力増強プロジェクト～自然の恵み 里地里山、里海の再生を稼ぐ力に～

【背景】

- 本市は工業都市として発展するとともに、医療・福祉環境も充実しており、化学工業を中心とした製造業や医療・福祉産業が地域の雇用や「稼ぐ力」をけん引する一方で、農林水産業においては、従業者の高齢化が進み、次世代の担い手が減少するなど、農林水産業の活力の維持・再生が課題となっている。
- 山口県は全国有数の竹林面積を有しており、本市においても、竹林面積の割合は増加傾向にあるなど、農地・森林の保全に大きな影響を及ぼしている竹林の対応が大きな課題となっている。
- 里地里山を再生しながら、森林資源や農地がバランスよく共生する持続可能な地域づくりを目指すため、竹資源を有効利用する仕組みづくりを地域全体で進める必要がある。
そこで、食品としての竹の利用や、バイオマスとしてのエネルギー利用を中心に竹資源の循環型リサイクルループの構築など、繁茂する竹林の整備を進める。
- こうした取組によって、農地の保全、里地里山や水源涵養機能の維持、担い手の確保・育成など、地域の「稼ぐ力」につなげ、更には環境共生都市としての地域ブランド力の強化・発信、雇用の機会を提供できる暮らしやすいまちとして、市全体の魅力向上につなげる。

【事業概要】

1 竹資源を活用した新たな循環システムの構築

- 市内や近郊の竹資源を有効利用するために、行政や民間事業者、経済界、竹林所有者等の関係者により、6次産業化による新商品の開発や竹資源の活用による再生可能エネルギー導入の推進などを協議する組織を設立している。
- この協議会を中心に、竹の有効利用や、竹を中心とした新たな循環システムを構築しながら、地域の所得向上や雇用の創出、地域の活性化を図る。

2 一次製品のブランド力の強化

- タケノコの食品利用とともに、隣接する山陽小野田市に建設が予定される世界初の竹専焼火力発電所へ、間伐された竹資源をバイオマスとして供給するなど、地域内で環境循環型リサイクルループの仕組みづくりを進めながら、一次製品全体のブランド力の強化や販路拡大を図る。
- タケノコなど地元食材を使用した市内飲食店の新しいメニュー開発や PR 活動を支援するとともに、女性・若者の視点や SNS 等による発信力等を生かした地元食材の掘り起こしやブランド化に取り組む。

3 流通・販売の強化

- タケノコを中心にジビエや海産物等との組み合わせによる新しいメニュー作りを進めながら、一次製品全体の消費・流通の拡大を図るため、平成 27 年度に設立した公民連携によるネットワーク「うべまるごと元気ネットワーク」や、漁協直営の水産物直売

施設「うべ新鮮市場 元気一番」のオープン等の機会も生かしながら、農林水産業者、加工業者、販売者、デザイナー、教育機関等の多様な主体との連携により、新たな商品開発や販路開拓を進める。

4 竹林の環境整備と異業種とのコラボレーション

- 竹林整備のための作業道整備や、竹資源を安定的に供給しバイオマスとして活用するための環境整備を進める。
- 竹林を活用したイベント実施やツアーの企画等を支援するなど、飲食業や流通業、観光団体と連携しながら、竹全体の利用促進を図る。

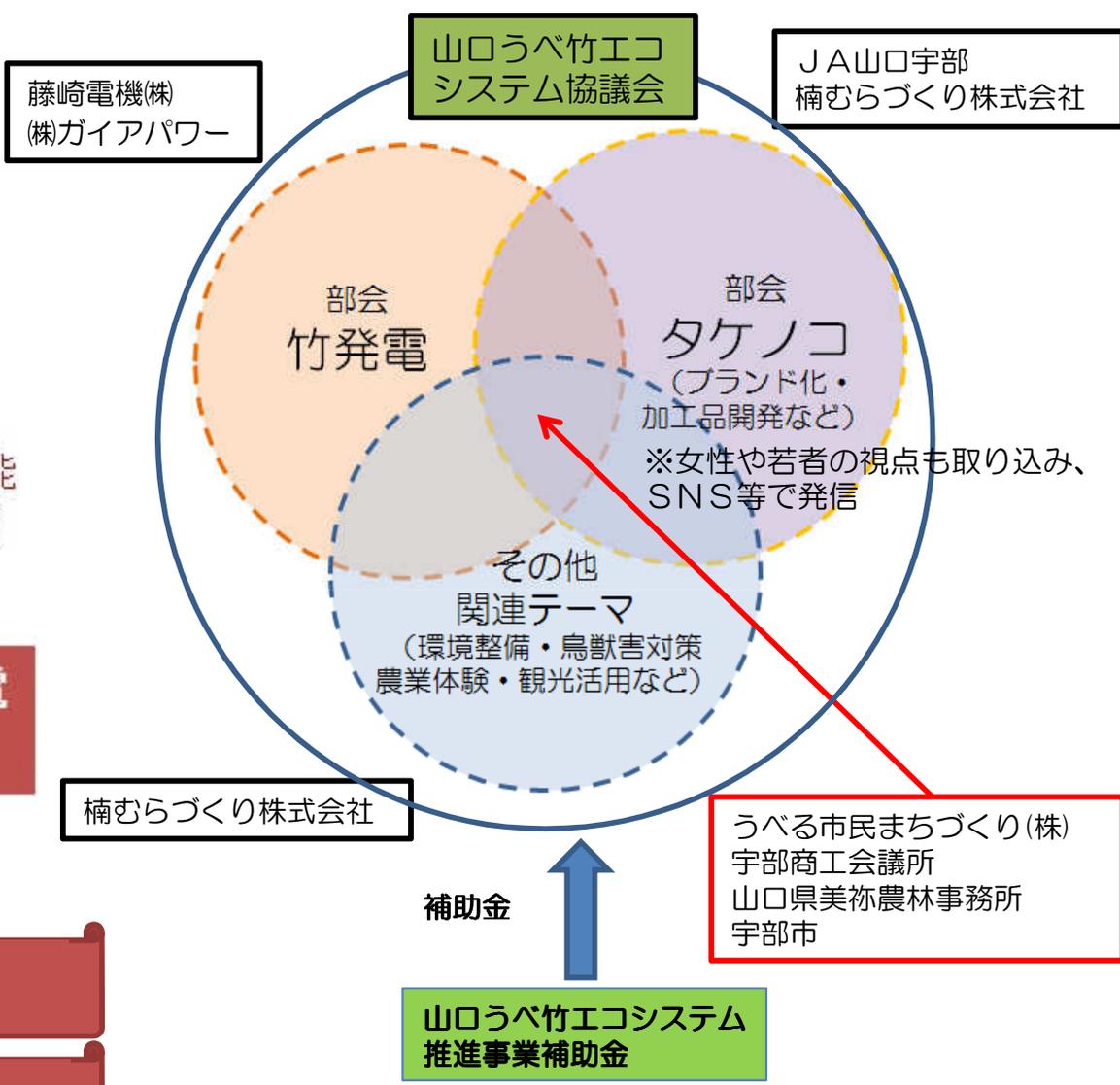
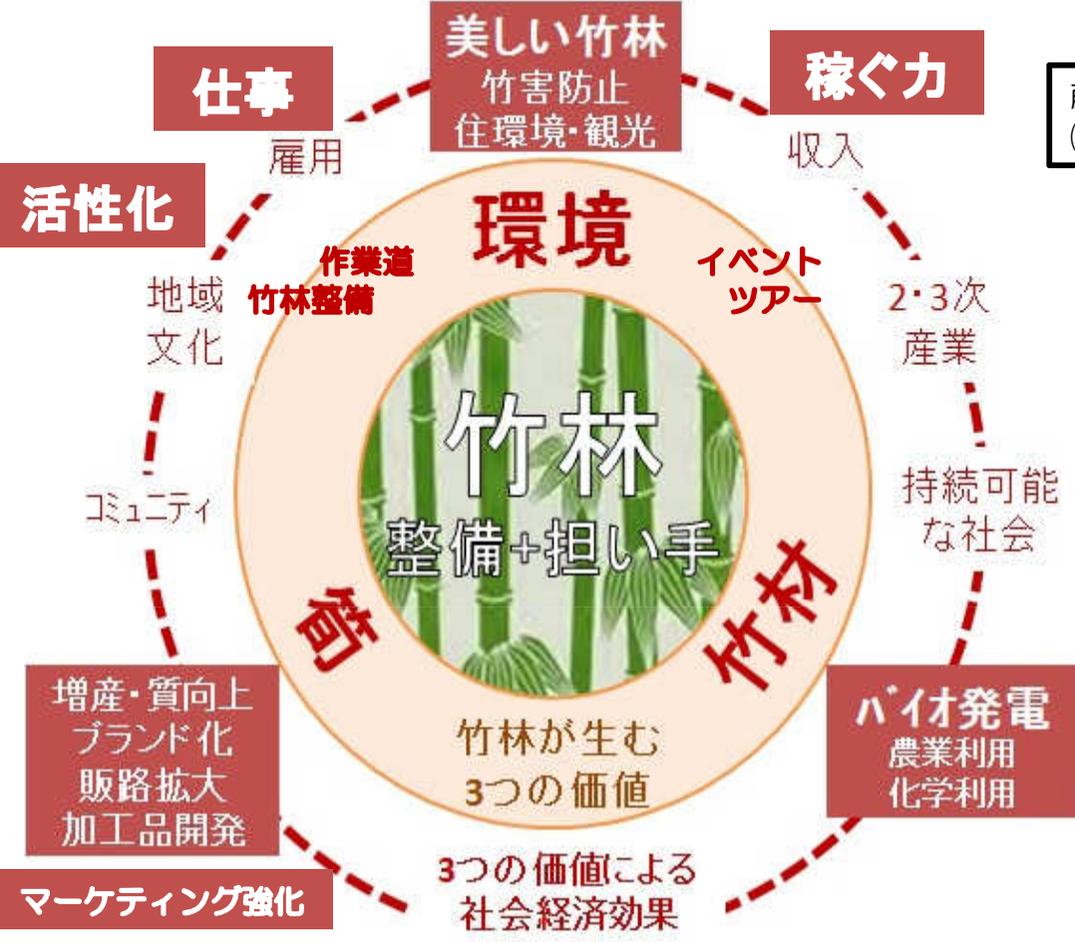
●H28 交付金対象事業額:7,931 千円 (1/2 助成)

- ① 6次産業化の推進(タケノコ集荷システム構築、タケノコを使用したメニュー開発) : 4,126 千円
 - ② 林道の整備(竹林を整備するための作業道開設への補助) : 1,600 千円
 - ③ 水産物の6次産業化推進(6次産業化の担い手育成) : 2,205 千円
- 〔参考〕総事業費(交付金対象分) : 54,008 千円

宇部力増強プロジェクト～自然の恵み 里地里山、里海の再生を稼ぐ力に～ (平成28年度～平成30年度)

(事業イメージ)

(組織イメージ)



竹の有効利用・ブランド化

循環型リサイクルループの構築

地域の「稼ぐ力」の強化

◎その他の関係者（必要に応じて連携）
宇部まるごと元気ネットワーク、水産業者、
竹林所有者、食品加工業者、市内飲食店、スーパー等
販売店、燃料供給SPC、猟友会など